



いきいき通信

157号 (平成30年6月号)

iki iki - tushin

Take Free!

オムロン社員の方々が水源の里のお手伝い

近年、企業の社会的貢献が重要視され、地域内でもその役割を積極的に果たしていこうとする活動が活発になっています。

その動きの先駆的企業の一つであるオムロン株式会社の綾部事業所は、毎年通年でこの活動をされています。市内の障害者福祉事業所や観光資源の復旧、農作業支援などに、綾部事業所に所属される社員の方々が必ず年1回の参加を社内で要請されています。

6月7日(木)には水源の里・清水で、9日に開催されたほたるの夕べに出品されるこんにやく作りをサポートされました。初めてこんにやく作りを体験される方が多く、「知識としてはあったけれども、こんにやく芋を見たりこんにやく作りをしたことはなかった」との声も聞かれるなど、参加者にとっても充実した作業となりました。

また6月5日(火)と13日(水)には、橋上の里でも支援を実施。橋上の特産品であるきゅうり漬けの原料となる無農薬のきゅうりの支えと電柵の設置作業を手伝われ、前日のぬかるんだ畑作業にも関わらず、丁寧に作業されていました。

来年以降も継続して支援を予定されており、この活動の益々の発展が期待されています。



数十個分のこんにやくの成型などを体験(水源の里・清水)

志古田で「お田植え祭」が盛大に開催

6月9日(土)、志古田自治会で五穀豊穡を願う「お田植え祭」が開催、地元住民ら約30人が参加しました。これは志古田に1ターンし農業に取り組まれている北村和幸さんを中心に企画・実施されたものです。

巫女さん2人を伴った神主による祈祷が、田んぼに築かれた神殿に奉納された後、北村さんのご友人ら約10人の男衆が白いふんどし一丁の雄々しい姿で登場。お神酒で清められた田んぼに一本一本丁寧にさし苗されていました。

この様子を収めようと朝早くからスタンバイしていた地元写真家や、今回の話を聞いて参加された奥上林出身者の参加者もあり、志古田の賑わいを演出していました。

お昼過ぎには大阪市の船場吉兆の板前さんによる食事がふるまわれ、一流の腕前に舌鼓を打ち、参加者同士の交流を深めていました。

自治会長の岩崎辰夫さんは、「北村さんの提案に、地元も協力的に取り組ませてもらった。沢山の方々の参加もあり、志古田の元気づくりのきっかけになっていけば」と話され、集落の若手の活躍に期待を込められていました。



ふんどし一丁で繰り広げられたサッカーは大盛り上がり

絆と成長の物語に一貫校児童らが感動の拍手

6月7日(木)上林小・中一貫校で、「わらび座」による「ミュージカル セロ弾きのゴーシュ」が開催されました。

この事業は、京都府教職員互助組合の地域公益事業(へき地事業)を活用して開催され、ふれあいセミナー、上林教育振興会の協力のもと、子ども達が本物の芸術に触れられることを目的に実施されたものです。

「わらび座」は海外でもオリジナルミュージカルを公演される、秋田県の劇団です。

この日は一貫校児童・生徒のほか、綾東こども園や東八田地区にある風の子共同保育園の園児、教員、地元住民など約170人が鑑賞しました。

宮沢賢治原作の物語はセロ(チェロ)がうまく弾けない主人公が、動物達との心の通い合いを通じて成長していく姿を描いた作品です。

参加者は、「生のミュージカルのステージは引き込まれるものがあった。観客が参加できる場面もあり会場全体が一体になっていた。」と、会場の様子を話していました。



かっこうから音程を教わるゴーシュ

上林の2大イベントが今年も盛会のうちに終了

6月3日(日)二王公園広場を会場に、「第23回二王公園まつり」が開催され、約2,800人が来場、水源の里や各自治会のオリジナルグルメを味わったほか、太鼓やバンド演奏を楽しみました。また同時開催の二王門登山レースは、市内からだけでなく京阪神からの225人を含む875人の参加者が二王門に続く過酷な坂道を駆け抜けました。

翌週6月9日(土)には、観光センターで「ほたるのタベ」が開催され、7日からスタートした自然観賞と合わせ、延べ2,200人の来場者が、ほたるの光を楽しみに訪れました。

バンド演奏では、毎年恒例となった渡辺連長と山崎市長とのユニットによるギター演奏のほか、paul morris(ポールモリス)や上林保存会など、計8組の地元関係者らによる演奏が披露され来場者を楽しませました。

市志の自然、丸々じっくり楽しんで

水源の里・市志の「市志里山再生の会」(阪田薫代表)は、「こどものための里山学習」の参加者を募集しています。市志の交流事業では初となる宿泊での体験として企画され、2日間とも市志集落の「どんぐりの森」で実施します。

川遊び、竹切り、流しそうめん体験、里山探検(クワガタ・カブトムシ採集)に加え、夜には星空観測を行います。また、ツリークライミングと里山の学習のほか、里山での昼食など、市志の自然を満喫できる内容となっています。

【日程】7月28日(土)~29日(日) ※雨天決行
28日(土)午前10時30分 市志公民館集合、
29日(日)午後3時終了予定

【参加料】小人8,000円、大人7,000円
(4食、宿泊費、保険料含む。当日現地支払)
※小人のみカブトムシ幼虫付き

【持ち物】長袖、長ズボン、手袋、運動靴、サンダル、
雨具、洗面具、水着、着替え等

【募集人数】先着15人(小学生~中学生程度)

【申込】7月23日(月)までに、氏名、郵便番号、住所、
電話番号を下記申込先までご連絡ください。

◎水源の里・市志(阪田 薫) TEL. 090(7365)9602

告知



森での昆虫採取は大きな楽しみの一つ